

# Sports Net

# ちば 2024年5月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2024年5月15日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL <http://njsf-chiba.perma.jp>

E-mail [njsf1970chiba@gmail.com](mailto:njsf1970chiba@gmail.com)

発行人 園川 峰紀

通巻 261号

## 魅力ある取り組みを広げ前進を！ ～～新スポ連千葉県連盟第52回定期総会開催～～



春爛漫の中、4月20日午後、代議員17名、理事13名、監事2名、顧問1名、合計33名の参加の下、千葉県総合スポーツセンター・宿泊棟/第3研修室において「新日本スポーツ連盟千葉県連盟第52期定期総会」が開催されました。

事務局及び役員による周到な事前準備も手伝い、12時半から始まった受付もスムーズに進行。開始予定時刻の13:00前には事前に欠席連絡を受けていた理事・代議員を除き全員集合。13時から予定通り定期総会を始めることが出来ました。

式次第に則り、議長に渡辺二郎さん（卓球協）本田満さん（連盟副理事長）を選出。

全国連盟含む他府県連盟から寄せられたメッセージを披露後、議事に入り、園川理事長から第1号議案「私たちを取り巻く情勢」及び第2号議案「2023年度活動総括」が熱っぽい口

調での語り口で報告。

竹村常任理事から第3号議案「2023年度決算報告」が改善に向かっている状況が、次いで吉田常任理事から「ひろば誌会計報告」がそれぞれ行われ、黒須監事からは第4号議案「会計監査報告」で県連盟財政は改善に向かっており今後も安定した財政運営を望む旨がそれぞれ報告。

いくつかの質疑応答（会員数現勢、財政等）

が行われた後、第1号議案から4号議案まで一括して拍手で採決、承認されました。



た。

一旦休憩の後、議事を再開。佐々木事務局長から第5号議案「2024方針」竹村常任理事から第6号議案「予算（案）」が提案され、若干の質疑応答が行われ「方針」については代議員全員から賛成、「予算（案）」については一部保留があっ

右 空手協議会八木さん  
左 卓球協議会石原さん



たものの何れも承認されました。

その後、各協議会から選出された代議員の皆さんに発言を促したところ、この1年間取り組んできた生き生きとした報告が相次ぎました。

そんな中でも空手協から「新スポ連の（空手）大会が楽しいことから参加者増につながっている。新スポ連のネームバリューが高くなっていると感じている」との発言には参加一同「お〜っ！」

テニス協の活動について報告する 伊東さん



と感嘆の声が上がりました。

その他、会員数増加が著しいテニス協からは「ネットによる大会の応募が始まるとすぐに埋まる状況が続いている」等贅沢な悩みも披露。

卓球協からは「会場となる体育館の確保に苦勞している。役員の高齡化対策が課題、選手の皆さんにも卓球台の設営をお願いしている」などの苦勞話が、若手の代表格・バレー協/ミックスバレー協からは「仲間を増やし大会に参加するチームを増やしたい」等積極的な発言が相次ぎました。

手前からMIXバレーボールの田村さん バレーボールの館野さん ウォーキング協議会の菊地さん



この他にもランニングクラブから反核マラソンについての提言、ウォーキング協からスポーツ基本法周知への提案、野球協から加盟チームが減っているものの新しい審判も育てている等各協議会からも報告を受け、全議事を終了。

最後に今期役員改選の時期となっていたため投票が行われ新理事体制が確認されました。

### 新役員は次のとおりです

役職	氏名	役職	氏名
理事長（留任）	園川 峰紀	理事（留任）	吉川 昭
常任理事（留任）	本田 満	理事（留任）	脇村 元夫
常任理事（留任）	田久保 孝一	理事（留任）	山口 順
常任理事（留任）	日野 正夫	理事（留任）	山口 幸雄
常任理事（留任）	竹村 昭	理事（留任）	磯部 宙
常任理事（留任）	吉田 嬌子	理事（留任）	野村 優美
常任理事（留任）	佐々木 睦昭	理事（留任）	固本 祐里子
監事（留任）	黒須 直樹	理事（留任）	三上 昭二
監事（留任）	稲葉 守俊	理事（新任）	渡辺 二郎
顧問（留任）	浅沼 義明	理事（新任）	八木 広輔
顧問（留任）	徳田 稔	理事（留任）	東山 千恵子

# 2024年春季空手大会 300人が熱戦を繰り広げ

おだやかな暖かさの3月17日(日)、第59回千葉県スポーツ祭典空手大会が、千葉県武道館で小中高一般の選手330人以上が集まり熱戦を繰り広げました。



午前は「形(かた)」。多くの流派が集まっているため違う演技で競います。審判の先生に伺うと「形の正確さ、キレの良さ、迫力などを基準にしています」とのことです。そういう目で見ると私にも少しわかるようになりました。



午後からは「組手(くみて)」。一瞬の勝負に素人の私は目が追いつきません。特に相打ちに見える時でも、審判がいっせいにジャッジをするのに感心します(ただしジャッジできる視覚にある審判だけが旗を動かします)。審判は主審と四隅に1人ずつ、それに監査の6人で構成されていて、みなさんの動きを見るのも面白い体験でした。



「形」も「組手」も学年別と一般とで22のカテゴリーに分かれ、どの試合も素晴らしいパフォーマンスが見られました。また団体戦では観客席からの大きな声援で会場が震えるほどでした。



2024年度も天台の武道館で秋と春に大会が行われます。みなさんも観戦にみえたらいかがでしょうか。



常任理事会報告は、内容が総会報告と重なる事から今号では掲載いたしません。ご理解ください。

# 卓球大好き人間大集合

## ～～ペアマッチ卓球大会～～

10連休も可能な今年のゴールデンウィークが始まる4月28日（日）花島公園体育館で「ペアマッチ卓球大会」が110組/220名の選手が集まって開催されました。

本大会は新スポ連卓球協議会としては2024年度の皮きりとなる大会。おりしも現在三重県で開催されている全国卓球大会で千葉県が団体戦優勝（30代・70代）という目出度いニュースもあり、なんとなく高揚した雰囲気が漂う中で選手も役員もなんだか笑顔が？！

110組/220名の参加者の中で、募集ぎりぎりに参加を申し込んだ一組がいるとの情報を基に会場を探してみると、いました！いました！会場の隅になんとか申し訳なそうな表情の男子が二人。インタビューを申し込みましたところ、意外な答えが返ってきました。

チーム名は漢字一文字で「山」。お二人の名前は矢田さん（24才）と窪田さん（26才）。大学来の友人で卓球が二人の共通の趣味ということで社会人となってからも卓球を続けているとか。そしてお二人の組み合わせブロックは「男子Aブロック」。一番若い、つまり一番強そうなグループ。

山チームの2人



「いや～同じグループの方々の試合を見るととてもかなわないと思います。別のグループがよかったかな？」とやや弱気の発言。確かに男子Aグループの試合を観

お二人の卓球との関わりは？と伺いますと「小中学生のころから」との答え。では結構強いのでは？と聞きますと「いや～同じグループ

戦していますと激しいラリーあり、厳しい攻めあり、とかなりシビアなムードが漂っていました。

新スポ連の大会には初参加ということもありインタビュー時はかなり緊張気味ではありましたが、大会独特のアットホームな雰囲気できっと最後には笑顔で帰ってくれたことでしょう。そして次の大会にもきっとエントリーしてくれることを期待します。



その後待機中の選手の皆さんにインタビューを試みましたが、試合中にもかかわらず大変にこやかにお答えいただき、そして異口同音に「ペアマッチはとても楽しいです。」中には「大会に出るからには優勝が目標です」と高らかに優勝宣言をするペア、「いえいえ、1勝できれば御の字です」と控えめなコメントを頂くペアがあったりと、人さまざま。大会出場を楽しんでいる風景が会場のあちこちで見うけられました。

なお、インタビューに対応していただいたペアは次の方々です。ありがとうございました。  
八千代YOC（渡部・伊藤ペア）（田中・田原ペア）  
中央クラブ（高橋・北村ペア）  
千城クラブ・チェルシー（湯本・本荘ペア）  
スヌーピー（石塚・安本ペア）  
市川フレンズ（辻井・今野）  
園生卓球愛好会（行木・中川ペア）  
T.T.フリークス（横尾・小松ペア）  
千葉みなと「クラブ（山崎・半田ペア）  
コスモ卓球クラブ（飯田・香島ペア）  
（飯田・石井ペア）  
チームへなちょこ（松本・福島ペア）  
のんのん（櫻井・中山ペア）

# 日野 正生 さん

県連盟常任理事

今回紹介する方は、県連盟常任理事（ウォーキング協議会担当）の日野正夫（ひの まさお）さんです。一見ひょうひょうとして見えますが、中々どうして多趣味でエネルギッシュな方です！



出身は日本海に面した中国地方・島根県。（正確な位置がわかりますか？）なんと22歳まで島根県から出たことがないとのこと。大卒後小学校教員として縁あって南国・千葉市に就職された由。

小学校教員時代、当時県連盟事務局長・金子泰夫さんから卓球大会に誘われたのが新スポ連に関わるきっかけだとか（ここにも金子さんの影響がありましたよ!？）その後、楽しい大会ができるのは運営委員の方が微に入り細に入りお世話をしてくれることに気が付き千葉県卓球協議会の運営に関わるようになったとのこと。（大会での動きを見ているとわかりますよ!）

子供の時からスポーツは大好き。中学では卓球にはまり、高校では地学部と卓球部の掛け持ち。でもあまり卓球には熱心でなく、大学時代は青空の下でスポーツがやりたくて、もっぱらサッカー部で活動。

教職についてからは息子さんと一緒に卓球をやるようになり、卓球というスポーツの奥深さに魅了され、74才の今もずーっと続け現在に至っているそうです。

そこまでスポーツを好きになったのは？との問いに「スポーツを通し沢山の人間と交流することが出来、それが『生きがい』に。私の人生訓は『何ごとも挑戦そして継続』『継続・継続していると何かが掴める』『癌を始めいろいろな疾患を抱え、残る人生で何が出来るか挑戦し

ているものの中に『卓球とウォーキング』がある」とのお答え。どこまでも前向きな方ですね!!

さて、現在新スポ連内でも中高年を中心に全国で愛好者が増えているウォーキングに関わっていますが、そのきっかけは？との問いには「県連盟にウォーキングクラブが無かった頃、連盟員を増やすにはどうするか侃々諤々の議論があり、その議論の中で『千葉県ウォーキングクラブ』が結成。私も設立趣旨に賛同し加盟。

現在県ウォーキング協議会の事務局長を担当していますが、私の趣味の一つ『旅行』と合致してのめりこんでいます。」と、どこまでも楽天的な日野さんですが「自分の仕事と健康状況を考えて夜の会議に出席できていないことが大変です。」と弱音の一面も。

最後に新スポ連へのメッセージがあれば？との問いには『何のためにスポーツをしているのか、もう一度振り返って頂きたい。人それぞれだとは思いますが、私は笑顔でスポーツをすることを心がけています。千葉県連盟が無くなったら寂しさが分かると思います。そうならないよう一人ひとりが出来るところで協力し合う体制を作っていけたらと思っています。そういう意味ではウォーキングなどは参加しやすいのではないのでしょうか。』

中々含蓄のあるメッセージですね。世代継承が喫緊の課題となっている私たち新スポ連への叱咤激励と受け止めたいと思います。

余談ですが、和太鼓の演奏チームも作って活動されているそうです。機会があれば勇壮な太鼓パフォーマンスを見れるかもしれませんよ。

（文責 園川峰紀）



\*先月号の人物探訪のお名前は富田登美子さんではなく、富田登喜子さんの間違いでした。謹んでお詫び申し上げます。

# SPORTS CALENDAR

## 5月

5月3日(金) テニス第17回なのはな大会男子D 稲毛海浜  
5月4日(土) テニス第17回なのはな大会女S 高浜庭球場  
5月5日(日) ミックスバレーボール柏大会 (柏中央体育館)  
5月6日(月) 野球協リーグ戦 (犢橋球場)  
5月11日(土) テニス第17回なのはな大会男子S 稲毛海浜  
5月18日(土) テニス第17回なのはな大会混合D 稲毛海浜  
5月19日(日) 千葉・青葉の森リレーマラソン  
野球協リーグ戦 稲毛海浜球場  
5月25日(土) テニス混合3ペアチーム対抗戦 稲毛海浜  
5月26日(日) 野球協リーグ戦 (青葉の森球場) (犢橋球場)  
(船橋海浜球場)  
5月8日(水) 四役会議  
5月16日(木) 常任理事会

## 6月

6月1日(土) 全国選抜野球大会 (静岡県) ~2日  
6月4日(火) ウォーキング協議会例会  
6月9日(日) 野球協リーグ戦 (尼ヶ台)  
6月16日(日) 野球協リーグ戦 (古市場)  
6月23日(日) 野球協リーグ戦 (宮野木球場)  
6月29日(土) テニス350チーム対抗女子 (稲毛海浜)  
6月30日(日) テニス350チーム対抗女子 (稲毛海浜)  
6月9日(日) 全国スキー協代表者会議  
6月12日(水) 四役会議  
6月20日(木) 常任理事会  
6月28日(金) 県連盟第2回理事会

## パリ五輪まで100日を切る！ 安全対策は万全というが.....

2024年4月17日「パリ五輪開幕まで100日を迎えパリ市内では本番に向け会場準備があちこちで本格化している」と外電は伝えています。2020東京五輪がコロナ渦の為1年延期されて開催されたことから通常は次の大会までは4年の時間が3年になったこともあり「アッ！」という間に次の五輪が来た！？という感じですね。

選手たちの活躍の舞台となる会場については新設を極力抑え 既存施設、それも歴史的な建物や観光名所を使うそうです。例えば、新競技「ブレイキン」などが行われる市中心部・コンコルド広場、ビーチバレーボール会場となるエッフェル塔前・シャンマルス公園、トライアスロン・オープンウォーター会場となるセーヌ川等など。大半の競技会場は選手村から半径10km以内とコンパクトで環境にも配慮しています。

組織委員会・エスタンゲ会長は「これから100日以内でベストな状態になる」と自信を見せていますが、安全対策は果たして十分なのか？ 不安材料も散見されます。特にセーヌ川で行われる開会式は夏季大会としては初めて競技場外で行われることからテロの不安が懸念されています。警備当

局は当初60万人を予定していた観客を32万人に減らし、無料エリアの22万人を招待客のみとするなど規模を縮小。川沿いエリア周辺では1週間前から政府の許可なく立ち入りを禁止するなどの措置を行う予定。

去る3月にモスクワ郊外で起きたイスラム過激派による銃乱射事件を受け国内テロ警戒レベルが最高に引き上げられたことが影響していることは明白。

昨今の世界情勢などを考えると、何時、如何なる事態が発生するか予断を許しません。五輪で思いだされる惨劇は、1972年ミュンヘン五輪(当時：西ドイツ)で発生したパレスチナテロ組織によるイスラエル選手団襲撃事件(黒い九月事件)。「平和の祭典」と称される五輪がテロの舞台とならないようにと祈るばかり。

柔道、陸上、水泳、サッカー、体操等日本選手の活躍が期待される種目でも次々と代表選手が内定・決定が相次ぎ本番を見据えた調整も始まっているこの時期、少しでも安全・安心な大会になることを祈らずにおれませ



理事長の独り言